

■ 中期経営計画実施事業設定目標一覧

中期経営計画の目標		設定目標	目標年度	成果目標
施策番号 重点施策	実施事業			
(課題1) 災害等の危機管理対策 ～安全で快適な暮らしを支えます～				
1 震災対策の 拡充・強化	01 浄水場・配水池 の耐震化	浄水施設耐震化率	H32	59.2%
		配水池耐震施設率	H32	54.1%
		危険箇所整備	H32	3箇所
	02 水道管路の耐震化	基幹管路の耐震化率	H32	47.6%
		災害拠点病院（7箇所）への 配水管の耐震化	H32	完了
		初期給水拠点（17箇所）への 配水管の耐震化	H32	10箇所
	03 バックアップ機能 の強化	安定給水向上人口 （井手浦系ループ化）	H32	12.3万人
		安定給水向上人口 （小森江系2条化）	H30	5.9万人
	04 浄化センター・ ポンプ場の耐震化	ポンプ場の耐震化	H36	6箇所
	05 下水道管渠の耐震化 (特に緊急性の高い管渠)	第1期計画107kmの耐震化	H29	完了
		第2期計画	H29	策定
		第2期計画に基づく耐震化	H30 ～ H32	実施
06 災害時における機能 確保の推進 (マンホールトイレ の整備等)	マンホールトイレ整備	H32	各区 1箇所 程度	
	圧送管の2系統化	H32	完了	
2 豪雨対策の 拡充・強化	01 浸水被害の最小化	雨水整備率	H32	73.0%
	02 合流地区の治水 安全度の向上	過去に浸水が発生した地区の雨水整備	H32	10地区
	03 小倉都心部の重点整備	供用開始	H32	5地区
		水防活動訓練	毎年度	1回
3 危機管理 体制の 充実・強化	01 事故対応能力の向上	模擬事故訓練（局全体1回、 水道2回、下水道2回）	毎年度	実施
		危機管理研修 （水道3回、下水道1回）	毎年度	実施
		寒波対策の充実	毎年度	実施
	02 応急給水能力の向上	配水管整備	H32	7箇所
		仮設水槽	H29	40個
		非常用飲料水袋（6ℓ）	H32	50,000 枚
		03 ハードを活かすソフト施策 の充実（IT技術の活用等）	効果検証、全市への適用を評価 浸水シミュレーション	H32

■ 共通事業 ■ 水道事業 ■ 下水道事業

■ 中期経営計画実施事業設定目標一覧

中期経営計画の目標		実施事業	設定目標	目標年度	成果目標
施策番号 重点施策					
(課題2) 経年化施設の長寿命化・更新 ～将来にわたって使い続けられるように、上下水道の機能を維持します～					
1 アセットマネジメント 手法を活用した 効率的・計画的な更新	01	上下水道施設の 長寿命化	浄水場施設の長寿命化	H32	6箇所
			配水池の長寿命化	H32	5箇所
			下水道管の点検・調査	毎年度	平均 90km
			浄化センター・ポンプ場 第2期計画	H28	策定
			浄化センター・ポンプ場 第2期計画 に基づく補修・補強	H32	実施
	02	水道・工業用水道施設の 改築更新	導送水管更新	H32	11.3km
			配水管更新	H32	250 km
			工業用水道管更新	H32	5.1 km
			浄水場設備更新	H32	実施
			中央監視制御設備更新	H32	完了
			配水管理システム更新	H30	完了
	03	下水道施設の改築更新	大口径管の更新	H32	8.7 km
			小口径管の更新	H32	91.9 km
長寿命化計画に基づく 設備機器更新			H32	実施	
2 有収率向上 対策	01	漏水防止対策の推進	漏水率	H32	6% 以下
			漏水発見件数	毎年度	1,000件
	02	配水ブロックの改善	低区配水ブロック への編入	H32	5地区
			小森江系配水ブロック の再編	H32	9.0km 削減
(課題3) 安全・安心でおいしい水の供給 ～いつでも安全で良質な水道水をお届けします～					
1 水源から 蛇口までの 水質向上	01	遠賀川の水源地水質改善	流域活動団体への支援	毎年度	40団体
			関係機関への提案	毎年度	2提案
	02	水源林の保全	水源地での植樹・育樹活動 (市民参加人数)	毎年度	480人 以上
2 蛇口から 新鮮な水 を飲む 水道	01	安全でおいしい水対策	水安全計画の運用、 残留塩素低減化	毎年度	実施
			3階以上の直結式給水率	H32	49%
	02	直結式給水の普及促進	直結式給水の実施(学校)	H32	5校 以上
			小規模貯水槽水道 の管理指導	毎年度	1,000件 以上

■ 共通事業 ■ 水道事業 ■ 下水道事業

■ 中期経営計画実施事業設定目標一覧

中期経営計画の目標		設定目標	目標年度	成果目標	
施策番号 重点施策	実施事業				
(課題4) 環境負荷の低減 ～水や資源の循環と低炭素化を進め、より良い環境づくりに貢献します～					
1 環境に やさしい 保全活動 の推進	01	水源林の保全 (再掲)	水源地での植樹・育樹活動 (市民参加人数)	毎年度	480人 以上
	02	合流式下水道の改善推進	合流改善達成率	H32	77%
			桜町北湊雨水貯留管	H30	供用開始
			東中島ポンプ場雨水滞水池	H31	供用開始
			第4期合流式下水道 緊急改善計画	H30	策定
	03	宅地内の分流化 の促進	宅地内排水設備の切替促進	毎年度	実施
	04	水質監視強化 (放流負荷量 の削減等)	重大な基準違反	毎年度	0件
事業場立入指導件数			毎年度	200件 以上	
05	地区の特徴を 踏まえた水循環の再生 (街なかの水辺再生等)	雨水調整池の整備	毎年度	2箇所	
2 地球温暖化 対策・資源 の リサイクル 事業の推進	01	自然エネルギーの活用	水道の再生エネルギー利用率	毎年度	15% 以上
	02	省エネルギーの推進	[水道] 電力使用量	毎年度	過去5年 平均以下
			[下水道] エネルギー消費 (H18比)	H32	10% 削減
	03	汚泥の有効利用	汚泥の有効利用率の維持	毎年度	100%
04	直結式給水の普及促進 (再掲)	3階以上の直結式給水率	H32	49%	
		直結式給水の実施(学校)	H32	5校 以上	

■ 共通事業 ■ 水道事業 ■ 下水道事業

■ 中期経営計画実施事業設定目標一覧

中期経営計画の目標		設定目標	目標年度	成果目標
施策番号 重点施策	実施事業			
(課題5) 国内外に貢献する上下水道 ～高い技術やノウハウを活用し、国内外に貢献します～				
1 本市が持つ 技術力・ 経験を 活かした 国際貢献	01 上下水道技術の国際 協力	研修員受入人数	毎年度	255人
		職員派遣人数	毎年度	20人
	02 海外水ビジネス の推進	海外水ビジネスの受注と 地元企業の振興	毎年度	推進
海外水ビジネスを通じた 国際貢献		毎年度	推進	
	03 外郭団体等の 更なる活用（再掲）	市内企業、（株）北九州ウォーターサービス との一層の連携強化	毎年度	推進
2 多様な形態 による 広域連携	01 上下水道事業の発展的 広域化	包括業務委託の受託	毎年度	継続
		技術研修などへの周辺自治体 職員の受入	毎年度	実施
		多様な形態による広域連携の 検討・協議	毎年度	実施
			汚水処理などの実現可能性の調査	H32
	02 外郭団体等の 更なる活用（再掲）	市内企業、（株）北九州ウォーターサービス との一層の連携強化	毎年度	推進
3 地域に 親しまれる 上下水道	01 お客さまに開かれた 広報・広聴活動 の推進 （施設開放、モニター、 環境学習支援等）	お客さま満足度（お客さまアン ケート調査）	H31	75% 以上
		お客さま満足度（上下水道モニ ターアンケート調査）	毎年度	80% 以上
		お客さまからの苦情件数の減少率 （H26比）	毎年度	5% 以上
	02 産学官連携による 研究開発の推進	[水道] 効率的な漏水探知システムの開発	H32	実施
		[下水道] 企業等との共同研究など	H32	5件 以上
03 下水道100周年 記念事業	下水道展誘致など	H30	実施	

■ 共通事業 ■ 水道事業 ■ 下水道事業

■ 中期経営計画実施事業設定目標一覧

中期経営計画の目標		設定目標	目標年度	成果目標
施策番号 重点施策	実施事業			
(課題6) 収支バランスを踏まえた経営基盤の強化 ～事業を支える「人・モノ・カネ」の経営基盤の強化に努め、安価な料金を維持します～				
1 効率的な事業運営	01 施設規模の最適化	[水道] 最適化の施策を計画に反映	H32	実施
		[下水道] 国土交通省の同意取得	H32	実施
	02 上下水道施設の長寿命化(再掲)	浄水場施設の長寿命化	H32	6箇所
		配水池の長寿命化	H32	5箇所
		下水道管の点検・調査	毎年度	平均90km
		浄化センター・ポンプ場第2期計画	H28	策定
	03 経費の節減(支払利息の軽減等)	経費節減(H27比)	H32	9億円以上
04 外郭団体等の更なる活用		市内企業、(株)北九州ウォーターサービスとの一層の連携強化	毎年度	推進
2 多様な収入の確保	01 上下水道の資産・資源の有効活用	収入増(H27比)	H32	約1億円
		包括業務委託の受託	毎年度	継続
	02 上下水道事業の発展的広域化(再掲)	技術研修などへの周辺自治体職員の受入	毎年度	実施
		多様な形態による広域連携の検討・協議	毎年度	実施
		汚水処理などの実現可能性の調査	H32	1都市程度
03 水道・工業用水道利用促進対策	新規・増量開拓件数	H32	5件以上	
3 職員の育成と活用	01 上下水道技術の継承・人材の育成	表彰制度の活用	毎年度	5名以上
		職員資格取得度	H32	2.0件/人

■ 共通事業 ■ 水道事業 ■ 下水道事業